

柴崎 隆一

東京大学大学院

工学系研究科システム創成学専攻准教授



<略歴>

東京大学工学部土木工学科卒業後、2002年まで同大学助手として教育・研究に従事。その後、国土交通省国土技術政策総合研究所に15年間在籍し、研究官・主任研究官・国際業務室長として勤務。この間、国際臨海開発研究センター主任研究員(2012～2015年)、清華大学現代物流研究センター客員研究員(2006～2007年)、京都大学客員准教授(2014～2017年)を歴任。

主な研究分野は、インターモーダル国際物流モデル、港湾ロジスティクス、海運ビッグデータ分析。研究成果は実務応用の観点から高く評価され、アジア交通学会(EASTS)より「Best Application in Practices」を3回(2009年、2011年、2015年)、International Association of Maritime Economists(IAME)より2回(2014年、2020年)、International Conference on Transportation and Logistics(TLOG)より2回(2022年、2024年)受賞。

現在、Maritime Policy & Management、Asian Transport Studies、International Journal of Shipping and Transport Logisticsのアソシエイト・エディター。また、TLOG Networkの代表オーガナイザーの一人。